

聖書の祈りが私の祈りになる（旧約編）

第6章 預言者における祈り⑪



ハバクク



神のしもべを困惑させる問いというものは、時として、他の人々を困惑させる問いに匹敵するほど大きなものとなります。ハバククは神に、「良い人たちの祈りはなぜ、即座に答えられないのか」という問いと「邪悪な人々はなぜ繁栄するのか」という問いを尋ねました。記録されているハバククの祈りは、ある人は二つだけ、ある人は三つと考えていますが、二つと考えられている箇所(ハバクク 1:1-11、1:12-2:20)は、実際のところ、一つの祈りの中で二つの問題を表現したものとなっています。

主よ。私が助けを求めて叫んでいますのに、あなたはいつまで、聞いてくださらないのですか。私が「暴虐」とあなたに叫んでいますのに、あなたは救ってくださらないのですか。なぜ、あなたは私に、わざわざ見させ、労苦をながめておられるのですか。暴行と暴虐は私の前にあり、闘争があり、争いが起こっています。それゆえ、律法は眠り、さばきはいつまでも行われません。悪者が正しい人を取り囲み、さばきが曲げて行われています。(ハバクク書 1:2-4)

神は、「良い人たちの祈りはなぜ、即座に答えられないのか」というハバククの最初の問いには直接にお答えになっていませんが、部分的に答えを与えてくださっている原則がいくつかあります。まず、答えが与えられた際にそれを価値あるものとしていただけるためには、忍耐強く求め続けることが必要な時があるということです。すなわち、願って即座に答えをいただいしまうと、その祝福は十分に感謝されないまま終わってしまうことになりかねないというわけです。賜物とは、心が受け取れる状態になっている時にこそ、さらに多くの意味を持つものとなります。答えが遅れることで心が整えられ、結果として、答えを受ける側に真の感謝と讃美が生まれるということもあるのです。

祈りそのものが、信仰が成長するための最高の方法なのです。神と意識的に交わるということは、倫理的にも霊的にも、素晴らしい成長を遂げるために本質的なことです。真の祈りは、さらにキリストのようになっていく

ための方法です。願いが認められる前にはまず、神のみこころに有無を言わずに従わなければならないことがあるのです。私たちは、時には、何のために祈るべきか完全には理解していません。その意味では、祈りが答えられないというのは幸いなこともあるのかもしれませんが。

時には、私たちの自己中心的な思いが神のみこころに屈しなければならないこともあります。イエスは、この杯を取り除いてくださいと祈りましたが、それは実現しませんでした。代わりに、イエスは神としてのさらに高いみこころに従いました(ルカ 22:42)。祈りに即答が与えられないからといって心を騒がせる必要はありません。神は、私たちの霊に対し、まことを持って証しを立ててくださいます。それは、遅れの中にもご自身の働きを達成しているのだという証しです。

「邪悪な人々はなぜ繁栄するのか」というハバククの第二の問いは、旧約聖書の預言者の多くも尋ねているものです。ハバククは言います。

主よ。あなたは昔から、私の神、私の聖なる方ではありませんか。私たちは死ぬことはありません。主よ。あなたはさばきのために、彼を立て、岩よ、あなたは叱責のために、彼を据えられました。あなたの目はあまりきよくて、悪を見ず、労苦に目を留めることができないのでしょうか。なぜ、裏切り者をながめておられるのですか。悪者が自分より正しい者をのみこむとき、なぜ黙っておられるのですか。(ハバクク書 1:12-13)

神はご自分のなさっていることをご存じです。パピロン人がイスラエル人よりも邪悪であるにもかかわらず、神はイスラエルを罰するために彼らを用いました。ハバククがその理由を理解できずにいると、神は、パピロン人の邪悪さならよくわかっているという旨をはっきりと示されました。神は彼らを用いてはいたものの、時が来れば、彼らもまた、自らの罰を受けることとなるのでした(イザヤ 10:3-12 を参照)。神が私たちの祈りに答えてくださるときには、神が最善をご存じであることを認め、神ご自身の方法で答えていただかなければならないのです。

旧約聖書の最後の祈りは、聖なる方をたたえ、その憐れみを切に求める、流暢なヘブライ詩になっています。これは何よりもふさわしいことに思われます。ハバククの祈りには二つの目的がありました。それは、個人的なものであるとともに、典礼における音楽による讚美として意図されたものでもあったのです(音楽上の指示に注目のこと)。

主よ。私はあなたのうわさを聞き、主よ、あなたのみわざを恐れしました。この年のうちに、それをくり返してください。この年のうちに、それを示してください。激しい怒りのうちにも、あわれみを忘れないでください。… その尊厳は天をおおい、その賛美は地に満ちている。輝きは光のよう。ひらめきは その手から放たれ、そこに力が隠されている。その御前を疫病が行き、熱病はそのうしろに従う。神は立って、地を測り、見渡して、諸国の民を震え上がらせる。とこしえの山は打ち砕かれ、永遠の丘は低くされる。しかし、その軌道は昔のまま。… 山々はあなたを見て震え、豪雨は流れ去り、深い淵はその声を出し、その手を高く上げます。太陽と月はその住みかにとどまります。あなたの矢の光によって、あなたのきらめく槍の輝きによって、それらは動きます。… あなたは、ご自分の民を救うために出て来られ、あなたに油そそがれた者を救うために出て来られます。… あなたは、あなたの馬で海を踏みつけ、大水に、あわを立たせられます。私は聞き、私のはらわたはわななき、私のくちびるはその音のために震える。腐れは私の骨のうちに入り、私の足もととはぐらつく。私たちを攻める民に襲いかかる惱

みの日を、私は静かに待とう。そのとき、いちじくの木は花を咲かせず、ぶどうの木は実をみのらせず、オリーブの木も実りがなく、畑は食物を出さない。… しかし、私は主にあって喜び勇み、私の救いの神にあって喜ぼう。私の主、神は、私の力。私の足を雌鹿のようにし、私に高い所を歩ませる。指揮者のために。弦楽器に合わせて。(ハバクク書 3:2-6、10-11、15-19)

預言者たちは必要に駆られて祈りました。時には、自分たちが厳しい預言をした相手のためにも祈りました。未来に対する神のみこころに親しんでいた彼らは、何を祈るべきかについて、他の人々よりもよく理解していたのです。ハバククは神が、既に祈りに答える準備ができておられることに気づいていました。そのため、神が自分とユダの祈りに耳を傾けてくださっていることを確信しつつ祈ることができました。ハバクク書 2 章 4 節の有名な宣言(「正しい人はその信仰によって生きる」)は、新約聖書に三回も引用されており(ロマ 1:17、ガラテヤ 3:11、ヘブル 10:38 を参照)、宗教改革の際にはマルチン・ルターによっても再発見されています。忠実さを含んだ信仰こそ、ハバククの全生涯の基盤でした。義人はまさに、信仰とその信仰から生まれる祈りによって生きるのです。そしてその信仰には、忠実さが含まれているのです。

新約聖書と違い、旧約聖書には祈りについての命令はありません。しかし、祈りの糸は、神がその民を超自然的な方法でお取り扱いになる中に顕著に織り込まれています。族長たち、預言者たち、そして指導者たちの例は、祈りが想像力豊かな後世の人々による発明ではなく、人が神との関係を確立しようとする際の基本的な手段だということを示すに十分な証拠となっているのです。

? 質問

- 1 「良い人たちの祈りはなぜ、即座に答えられないのか」というハバククの問いに、神が部分的に答えを与えてくださっている原則は何ですか？ あなたも、すぐに祈りが答えられなかったという経験がありますか？
その理由や意味は何だと思えますか？
- 2 なぜ祈りは信仰が成長する最高の方法と言えますか？ 祈りによって私たちは何を学び、どのように変えられていきますか？
あなたは祈りによってどのように信仰が成長してきたと思えますか？
- 3 「邪悪な人々はなぜ繁栄するのか」というハバククの第 2 の問いに、神はどのように答えておられますか？
あなたも同じように疑問を感じたことがありますか？ その疑問にどう答えることができると思えますか？
- 4 ハバククはどのような態度と姿勢で祈っていますか？ あなたがハバククを見習いたいと願うことがありますか？

- 5 今日読んだ箇所から、あなたは祈りについてどんなことを教えられましたか？
どんなことを実践したいと思いますか？



祈り

主なる神さま。私もハバククのように信仰を持って祈っていても疑問を抱くことがあります。しかし、あなたはその疑問さえ受けとめ、取り扱い、祈りを通して私たちを成長させて下さる方です。そのようなあなたに信頼してこれからも祈っていきます。聖霊によって私の祈りの生活を導いて下さい。祈りを通してキリストのようになっていくことができますように。

【まとめ】 学びのための問い

1. 軽く浅はかな祈りをする人々、すなわち、主に「パパなる神(Daddy, God)」と呼びかけるような人々に対し、イザヤならばどのように語りかけることでしょうか。
2. 神になんともなく見捨てられているように感じる時、どのように祈るべきでしょうか。
3. エレミヤは疑いや厄介な思いをどのようにして乗り越えたでしょうか。
4. 神はエレミヤに、人々のためのとりなしの祈りをやめるように言われました。なぜでしょうか。
5. 神の御言葉を交えて祈るのが重要なのはなぜでしょうか。
6. 純粋な良心を抱いて祈ることが大切なのは、どんな点でしょうか。
7. ダニエルが仲間たちに一緒に祈ってくれと頼んだのはなぜでしょうか。
8. 神のみこころを知ることによって、私たちの祈りはどのように助けられるでしょうか。
9. 私たちは、神の栄誉に対する関心を、祈りの中でどのように示すべきでしょうか。
10. 救われていない人々が神に真摯に祈るとき、神が彼らの祈りを聞いてくださるかどうか、私たちはどのようにして知るのでしょうか。
11. 神はハバククの間いをどのようにお取り扱いになったでしょうか。私たちが疑いや疑問を抱くとき、神はそれをお責めになるのでしょうか。